

平成 28 年 2 月 22 日

浜田市議会議長 西田 清久 様

議員名 岡本 正友



調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため視察等を行ったので、その結果を報告します。

記

1. 期 間 平成 27 年 10 月 28 日 (水) ~ 10 月 30 日 (金)

2. 視察先及び研修テーマ

(1) 新潟県糸魚川市 糸魚川市役所
研修テーマ 「知音都市交流の取組み」について

(2) 長野県中野市 中野市役所
研修テーマ 「知音都市交流取組み」について

3. 参加者 足立 豪 岡野克俊 野藤 薫 上野 茂
布施賢司 岡本正友 道下文男 田畑敬二
平石 誠 西田清久 澁谷幹雄 牛尾博美
原田義則 計 13 名

4. 調査経費 ¥66,546 円
(内訳) バス代 43,846 円
宿泊費 22,400 円
入館料 300 円



5. 調査研究活動の概要

(1) 新潟県糸魚川市、長野県中野市

<視察に至った経緯>

浜田市（旧金城町）、新潟県糸魚川市、長野県中野市、長野県長野市の4市は、「カチューシャの唄」知音都市交流として交流を続けている。なぜこの4市が交流を始めたのかといえば、日本の新劇運動の先駆けの一人として知られる、島村抱月が浜田市（旧金城町）出身であったことから始まる。島村抱月は、1913年劇団・芸術座を結成し、トルストイの小説を基にした新劇「復活」の舞台が好評で全国各地で興行が行われた。その劇中歌「カチューシャの唄」は大ヒットとなり、日本初の歌謡曲として知られているところである。

その「カチューシャの唄」を歌ったのが、長野市出身の「松井須磨子」であり、その唄を作詞したのが「島村抱月」と新潟県糸魚川市出身の「相馬御風」であり、作曲は長野県中野市出身の「中山晋平」ということで、この4人の出身地が「カチューシャの唄」をご縁に都市交流を始めたということである。

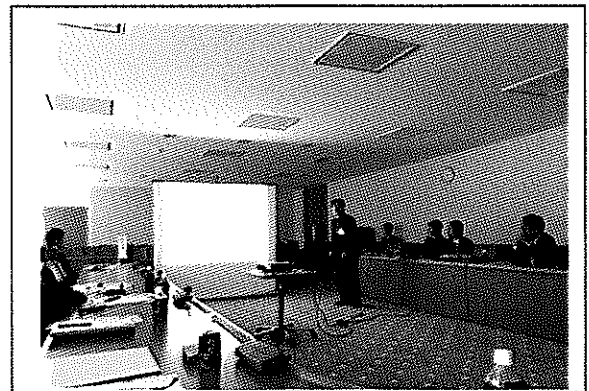
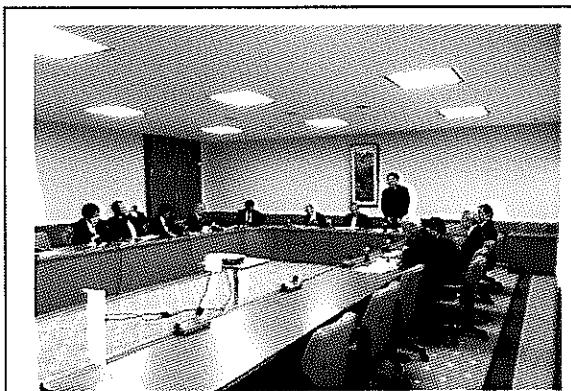
そこで、市町村合併10周年を期に、交流をしている都市を訪問し、これまでの活動内容等の情報収集を実施し、今後の活動に関しての意見交換ができればとの思いで、今回の視察を計画したところである。

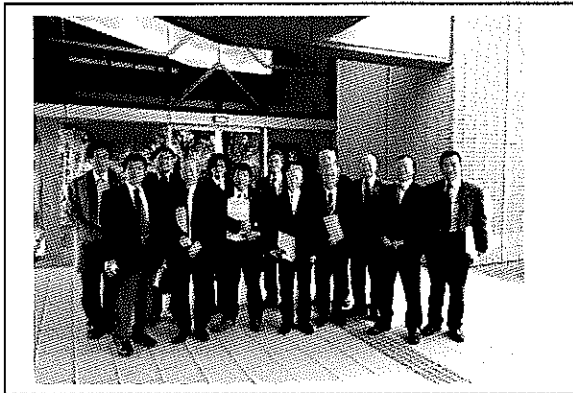
<視察内容>

【糸魚川市の取組】

知音都市交流において、平成2年に4都市の実務・広報担当者会議を皮切りにそれぞれの交流が活発化した。平成4年には青年会議所が浜田市（旧金城町）を訪問し演劇を見学するなど交流を深められた。平成12年5月には「カチューシャの唄」知音都市交流市民の会が設立され、市民の中にも交流の輪が広がった。特に、中野市や長野市とは距離が近いこともあり、それぞれの都市で開催される、祭やイベント等に参加している。

都市交流のきっかけとなった、相馬御風については、市役所に隣接した場所に「歴史民俗資料館(相馬御風記念館)」を開館しており、御風の蔵書や資料を多く展示し市民や観光客に紹介している。





【中野市の取組】

中野市においては、平成10年3月「中野市市民都市交流会フレンズ」が設立され、交流の中心となっている。この会の活動として、

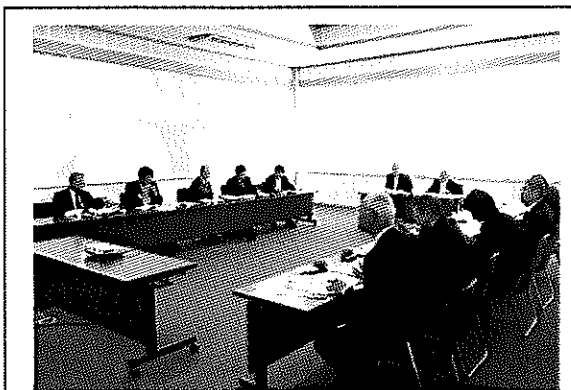
- ・カチューシャの唄の関する先人の研究
- ・4都市交流の計画、地域活性化の研究
- ・交流情報の受発信と広報
- ・4都市交流団体としての事業実施
- ・会員相互の友好連携 が挙げられる。

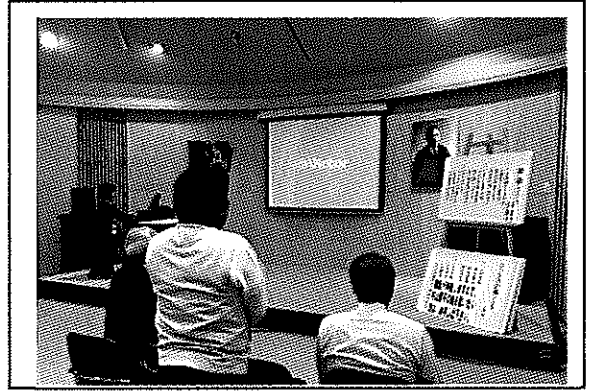
現在、特に力を入れていることは、

- ・組織育成事業(会員拡大)
- ・4都市市民交流のための情報発信のためのホームページやブログの開設と運用
- ・先人を知る学習活動 ということである。

今後の活動の方向性として、交流4都市の情報発信や、各都市の活性化や町づくり推進への寄与としている。

都市交流のきっかけとなった、中山晋平については、晋平の生家近くに中山晋平記念館が開館しており、館内には、生前の写真や作品集が展示されている。また、彼の作品が視聴できるコーナーやビデオコーナーも設けられており、より親しみやすくなっていた。





《所感》

知音都市交流を続けている4市のうち、相馬御風の新潟県糸魚川市と中山晋平の長野県中野市の2市を訪れた。

島村抱月が結成した劇団・芸術座が行う新劇のトルストイの小説を基にした新劇「復活」の舞台が、全国各地で興業を行っているが、その劇中歌であるあの有名な「カチューシャの歌」を歌ったのが、長野市出身の松井須磨子であり、この曲の作詞が、島村抱月と相馬御風、作曲が中山晋平である。

このような関係から4市交流が行われ、現在に至っていると伺った。

この度の初めての訪問を通して、2市の関係者の方々が、わがまちの偉人を誇りにおもい、その活躍の歴史を保存して行こうとする積極的な姿に対して、頭の下がる思いを持ったところである。

浜田市の偉人の一人である島村抱月の功績を、より深く知っている生誕の地の金城の方々を中心に、市民のほか多くの人々に知っていただく活動と、4市の知音都市交流の推進をこれからも親密に図って頂きたいと思っている。

交流からの偉人学習であるふるさと教育の題材として、浜田市の子どもたちへ大切に語り継ぎさせながら、浜田で生まれ育ったことを誇り持てるものにして頂きたいと思っている。